発表者7

生田　ナタリア

●出身・ルーツ

ロシア

●日本に来たのはいつ？

2000年12月

●日本語を勉強している期間は？

1.5年間

●発表者コメント

自分のふるさと、カムチャッカのしぜんのしばらしさを紹介したい。

● 推薦者コメント　【つきみ野あいうえお　関　行忠　先生】

何事にも前向きな姿勢であり、今回のスピーチ大会を機会に日本語の理解度が増すことを望んでいます。

スピーチタイトル　「カムチャッカのしぜん」

私は、生田ナタリアと言います。ロシアのカムチャッカ半島で生まれ育ちました。

自然が大好きな私は、結婚して日本で生活し、14年になります。今日はカムチャッカの自然を話そうと思います。皆さんカムチャッカ半島を知っていますか？北海道よりずっと北にあります。東西に長い半島で、フランスとほぼ同面積です。とても寒いのではと日本の人たちに尋ねられますが、シベリアほどではありません。でも寒いところです。

東海岸にある一番大きいペトロパブロフスクという町が私の故郷です。平均気温は冬マイナス 10℃で夏は 15℃です。夏はとても短く、カムチャッカのひとたちは、長い冬の間この夏を心待ちにしています。

カムチャッカ半島の気候は、日本の気候とだいぶ違います。春になると、やっと冬の重い服がいらなくなり、雪解け水でどろんこになった道も乾きます。日本の人たちは冬の間、春を待ち遠しく思うと聞いていますが、カムチャッカの人々は春があまりにも寒く、短いのでそうは思わないようです。

日本で桜咲く時期、カムチャッカ半島では吹雪が続く時もあります。5月に雪が溶け始め、ようやく溶けた雪の下から植物が顔を出し、暖かくなる春の始まりなのです。そして、短期間に花が咲き春はあっという間に過ぎます。春が過ぎ6月中旬になると、人々は野菜と花を植えるために慌ただしく動きます。遅くなると、花は咲かず、野菜も収穫できません。7月になると、町の周りにある多くの火山にあった雪もだいぶ少なくなります。

カムチャッカ半島は、火山が多く29の火山が活動しています。ユーラシア大陸の中で、一番高い火山もあります。高さが4750メートルのクルチフスカヤ火山です。毎年夏に訪れる国内外からの観光客は、火山近くにある珍しい現象が起こる場所にも行きます。ユネスコの世界遺産にも登録された“間欠泉の谷”と呼ばれる場所です。

日本の秋田県にも小規模な間欠泉はありますが、地面の穴から火山による地熱で暖められた水蒸気とお湯が勢いよく、ときおり空高く吹き出すのです。小さい噴泉もあれば、数メートルの噴泉もあります。それは轟音と共に一気に噴出し、隣で話している人の声も遮ります。噴泉の周りは虹がかかり、素晴らしい幻想的な世界になります。世界中からくる観光客はその場所に長い時間立ち止まり、その一瞬の自然が織りなす僅かなショーを見るためにこの場所に集まってきます。本当に不思議で素晴らしいところです。地熱で暖められた水蒸気などが噴出するだけのことですが、雄大な自然を感じるパワースポット的な場所でもあります。

冬を過ごすカムチャッカの人たちは、スケート、スキーやソリなどの屋外スポーツを楽しみ、子供たちは屋根の上から飛び降りたりして遊びます。しかし道を歩く時、凍った道の怖さや除雪等いやなこともあるため、夏の訪れを楽しみに待つのです。

夏は多くの人が森で自然に育ったブルベリー、グランベリーや色々なキノコ類等を取って、ケーキやジュースまた料理し楽しみます。また、森での夜はキャンプファイヤーのまわりに集まり、昼間釣った魚を食べたり、ギターを弾きみんなで合唱したりもします。

町では、夜になると近所の人たちと外で長話をし、夏の恵みについて話をしたりもします。例えば「今年の夏はどうなるのか」「今年は雨がいっぱい降って寒い夏なのか」「野菜は大きく育つのか」などと心配することもあります。逆に「今年の夏は暑いくらいだ」と喜びも語ったりします。夏の暑さを喜ぶなんて不思議でしょう？

カムチャッカ半島は温帯低気圧が多く通過する場所でもあるので、誰もが予想することが難しく、自然に任せることを話します。イギリス人の挨拶に天気の話が多いのと似ているのかもしれません。

秋の訪れは8月の終わり頃にやってきます。気温は日ごとに下がり、水も冷たくなり、木々の葉は色づき、鮮やかな色彩を見せてくれます。冬から夏にかけての間にある”春”は判らないうちに過ぎてしまいますが、秋は誰にでも判るような早さで徐々に進み、そのうち木々の葉は枯れて植物は深い眠りに入ります。そして、又行き過ぎた”夏”を恋しく思うのです。

このようなカムチャッカ半島の四季折々の自然を私はとても愛しています。美しい自然を、是非後生にそのまま残したいと願うのは、そこに住む人たちの共通の夢であり、そして義務でもあるのです。皆さんも、是非一度”熊

が海岸や川べりを歩く姿に出あう“大自然が残るカムチャッカ半島を訪れて見てください。その時は、腕時計を外すことにより、より自然に近づけるでしょう。

●来場者・発表者からの応援メッセージ

・カムチャッカの自然がよく分かりました。ぜひ一度行ってみたい国となりました。(木下)
・落ち着いてゆっくり、はっきり、スピーチできていました。カムチャッカの自然はすばらしいですね。行ってみたくなりました。(すとう)
・今まであまり知らなかったカムチャッカ半島のことを知ることができてよかったです。短い夏を楽しむ様子がよくわかりました。間欠泉も見たいです。ナタリアさんが厳しくも美しい自然を誇りにしているのがわかりました。(加藤)
・①カムチャッカの夏は何か月ですか。②カムチャッカの自然をたのしみたくなりました。③カムチャッカの人は夏になると本当に自然を楽しむのですね。(ロナル)
・カムチャッカ半島のこと、全く知りませんでした。春・夏が短い、天気の話、火山が多いこと、豊かな自然、写真もあって共感できました。いつかいってみたいと思いました。(木村)
・カムチャッカについてあまり知りませんでしたが、ナタリアさんのお話、写真から、とても自然豊かな、きれいな所なのだなと思いました。(木村)
・カムチャッカ半島は私の行ってみたいところのひとつです。ナタリアさんのカムチャッカの自然のようすの表し方がとてもすばらしくて、情景を想像しながら聞かせてもらいました。(佐々木)
・ロシアの極東地域は一度行ってみたい所の一つです。とても興味があります。今日はカムチャッカの話が少し聞けてうれしかったです。
・ロシア語で「(年齢は)いくつですか？」ときくとき“夏”という単語を使うのだと、ききました。短い夏を大切にする、ロシアの人の心がわかる言葉だと思います。
・私もカムチャッカ半島の自然を見てみたい。どのように行くのですか？(セキ)
・カムチャッカの自然のすばらしさが良くわかりました(長谷川)
・カムチャッカのダイナミックな間欠泉を見てみたいです。人間の手で作ることはできないものだからこそ、すばらしい。
・ぜひカムチャッカに行ってみたくなりました。
・がんばれー(リラックス、リラックス)(けん)
・カムチャッカのしぜんのようすがよくわかりました。にほんごもとても詩的ですね！私と勉強しているロシアの子供たちもとても日本語が上手です。(つだ)
・長い文を頑張りましたね。カムチャッカの美しさが良くわかりました。行ってみたいです。自分の知っている言葉で話せたらもっとよかったでしょう。(藤田)
・春は気づかず過ぎていくが秋はだれもが気づきながら冬を迎える。なるほど！！すばらしい表現です。(山本)

(他メッセージ多数)